

説 明 文 書

第3類医薬品

使用前には必ず添付文書を読んで下さい

1	名称	ディアポピー														
2	成分・分量	100mL中 ポビドンヨード 0.45g、 添加物としてヨウ化カリウム、l-メントール、還元麦芽糖水アメ、グリセリン、プロピレングリコール、エタノール、サッカリンナトリウム水和物、香料を含有する。														
3	用法・用量	1日数回適量をのどの粘膜面に噴射塗布してください。 ＜用法・用量に関する注意＞ 定められた用法・用量を守ってください。息を吸いながら使用すると、薬液が気管支や肺に入ることがありますので、ノズルを患部にむけて、軽く息をはきながら、2～3回直射してください。本剤はのどの患部への噴射塗布だけに使用し、傷ややけどへの使用や、内服はしないでください。小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐ水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診断を受けてください。														
4	効能・効果	のどの炎症によるのどのあれ・のどの痛み・のどのはれ・のどの不快感・声がれ														
5	保健衛生上の危害を防止するために必要な事項	<p>1. してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)</p> <p>(1) 次の人は使用しないでください。 本剤又はヨウ素(ポビドンヨード)によるアレルギー症状を起こしたことがある人。</p> <p>(2) 長期連用しないでください。</p> <p>2. 相談すること</p> <p>(1) 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。 医師又は歯科医師の治療を受けている人。薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。本人又は家族がアレルギー体質の人。次の診断を受けた人。甲状腺機能障害。次の症状のある人。口内のひどいただれ。妊娠又は妊娠していると思われる人。授乳中の人。</p> <p>(2) 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。</p> <p>① 使用後、次の症状があらわれた場合。</p> <table><tr><td>関係部位</td><td>症 状</td></tr><tr><td>口</td><td>あれ、しみる、灼熱感、刺激感</td></tr><tr><td>皮 膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td></tr><tr><td>消化器</td><td>悪心</td></tr><tr><td>その他</td><td>不快感</td></tr></table> <p>まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診断を受けてください。</p> <table><tr><td>症状の名称</td><td>症 状</td></tr><tr><td>ショック (アナフィラキシー)</td><td>使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。</td></tr></table> <p>② 5～6日間使用しても症状がよくなる場合。</p>	関係部位	症 状	口	あれ、しみる、灼熱感、刺激感	皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	消化器	悪心	その他	不快感	症状の名称	症 状	ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
関係部位	症 状															
口	あれ、しみる、灼熱感、刺激感															
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ															
消化器	悪心															
その他	不快感															
症状の名称	症 状															
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。															
6	薬剤師または登録販売者が必要と判断する事項															

〔注意事項〕

- 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
- 情報提供が不必要とされるお客様には、申し出により情報提供は行いません。
- 使用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には使用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師または登録販売者にご相談下さい。